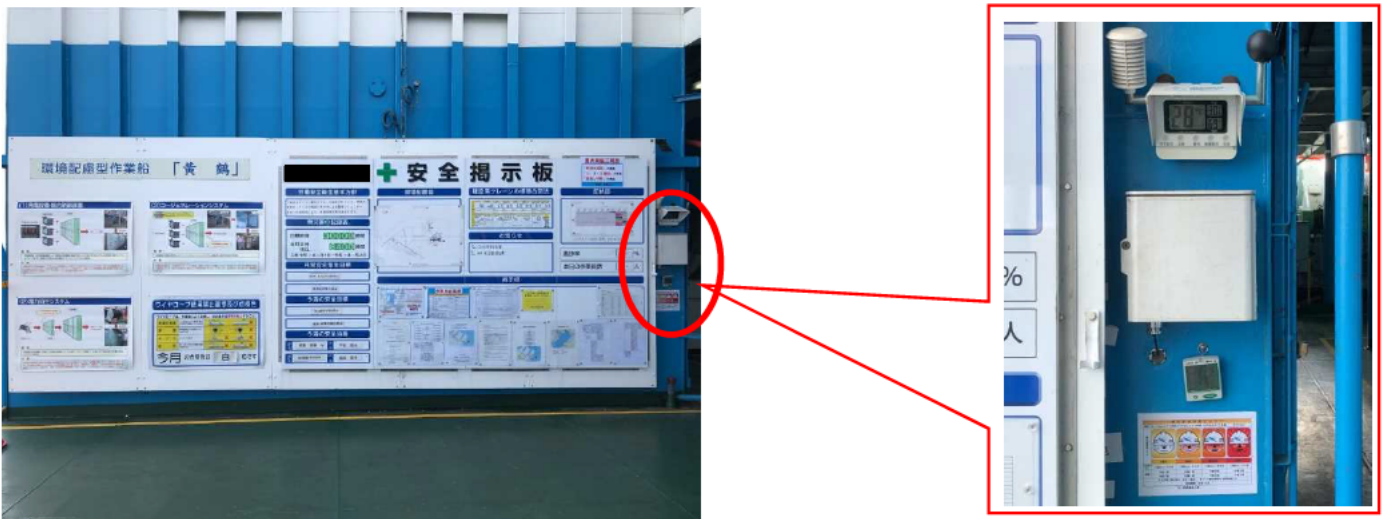


WBGT値のリアルタイム表示とWBGT値に応じた対応の「見える化」

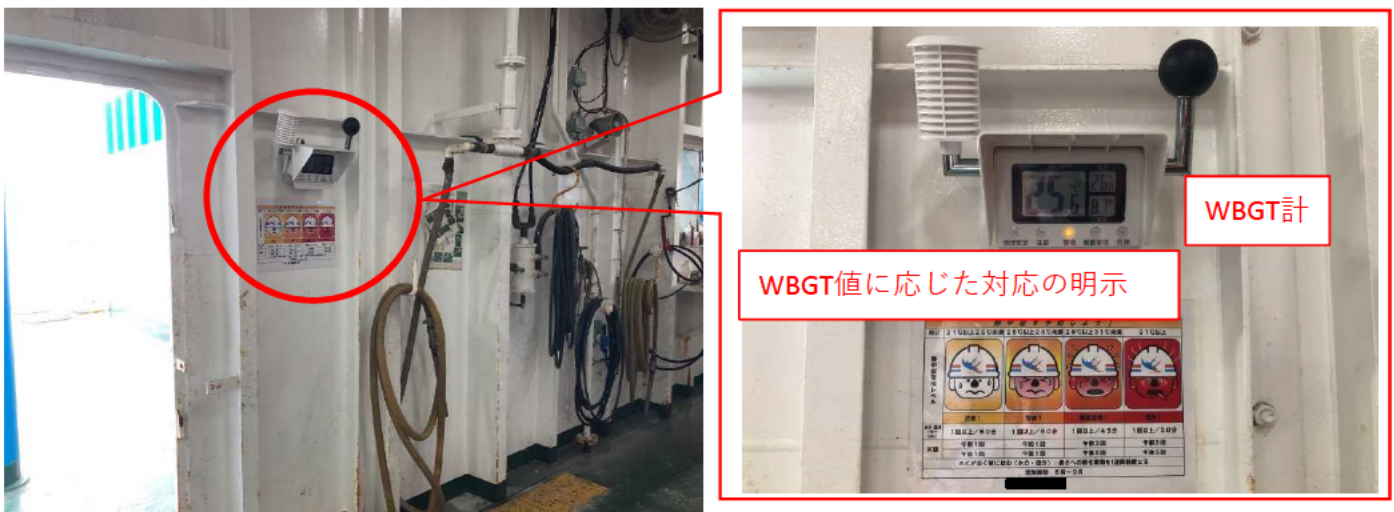
①朝礼広場（朝礼時にWBGT値を確認することにより、その日の大まかな熱中症リスクを確認）



②屋外（最も熱中症リスクが高い場所であり、すぐにエアコンのある休憩所へ入ることができる）



③屋内（比較的涼しい環境だが、WBGT値がリアルタイムでわかるため、水分・塩分の補給を促すことができる）



作業環境の異なる箇所へ、WBGT計を設置して現在のWBGT値をリアルタイムで確認し、作業環境ごとにWBGT値に応じた対応（水分・塩分補給回数・休憩時間等）を「見える化」することにより熱中症リスクを低減できる。